

・取り組み名称

Road to 2025 ～いのち輝く未来社会へ向けた 2025 のアクション～

・取り組み概要

夢洲モデルの新産業創出活動の中で芽生える多くの共創アクションや、参画する産学公の 150 団体が 2025 件の SDGs アクションに取り組み、当機構におけるアクションテーマとして登録・公開します。当機構がこれらの活動を支援する共創プラットフォームとして機能し続けることで「いのち輝く未来社会づくり」に貢献します。

※夢洲モデルの新作業創出活動とは

夢洲には既存インフラ、居住者がなく、古くからの伝統・文化に縛られない、海に囲まれた更地が広がっています。大阪・関西において、夢洲は内陸部のようなブラウンフィールドではなく、いわゆるグリーンフィールドです。グリーンフィールドの特徴を活かし、規制緩和が適用されやすい環境や実証・実装のしやすさなどが新産業創造活動の触媒となり活性化していくことを「夢洲モデルの新産業創出活動」と総称しています。

【具体的な取り組み】

- 参画企業が中心となり、5つの領域でのオープンイノベーション拠点活動
- 一般参加型のセミナー・シンポジウム開催による夢洲まちづくりの在り方、2050年を見据えた未来社会像の研究機会の提供
- 万博や（IRを含む）夢洲まちづくりに関わる関係者や国、自治体、経済団体等との連携・協力

・未来への宣言

産学公が共創し、多様な産業（IR、観光文化、健康医療等）との連携から生み出す 2025 のアクションから、新事業・新技術を創出し、万博の成功に寄与するとともに、万博のレガシーを活かす未来都市の創造を目指します。

・提供できるリソース

リソース	内容
情報発信・PR	当機構のホームページに「共創パートナー」のメニューを設置、150 社 700 名の会員から SDGs のシーズが発信できるプラットフォームを提供。全国から閲覧可能で、能動的なマッチングが可能となります。登録案件はアップデートができる環境を提供し、常に最新の情報として公開できます。
フィールド	当機構会員は民間企業だけでなく、多くの大阪府下自治体や関西圏のアカデミアに参画いただいており、産学公連携がとりやすい共創フィールドが提供できます。そして、当機構に参画する多くの自治体やアカデミアで、先端技術を活用した課題解決の実証・実装フィールドとして提供することが可能です。
ネットワーク	国や各種団体等に対し、チャレンジ案件の提言・提案が単体企業では実施困難な場合等、当機構の組織力・ネットワークを活用した実施機会の提供が可能です。
その他	当機構会員だけでなく、一般を対象としたセミナー・シンポジウムの開催実績多数。会員交流会では会員企業のプレゼンテーションの機会を提供（リアル・オンライン双方で対応実績あり）。今後ニーズに応じて交流会を活用したピッチの開催や、部会活動の中でハッカソンなどの実施も検討可能です。

・創出・支援したい共創チャレンジの取り組み

当機構の部会活動（エンターテインメント、ヘルスケア、都市魅力創造、Society5.0、地域経済発展等）から派生するテーマや、夢洲の課題である地域共生、産業育成、地方創生等に寄与するテーマの創出と共創を支援してまいります。

・今後取り組みを展開したい地域・方法

大阪府下自治体も当機構に多数参画されており、まずは大阪府下全域での取り組みとします。

今後は日本、そして、世界でも展開できるよう、当機構のホームページにシーズ発信のプラットフォームを構築し、機構活動や会員企業の取り組みを掲載、マッチング・共創のきっかけにしたいと考えます。

・共創していきたい方々

当機構の取り組みに共感いただけるすべての法人（企業・アカデミア・自治体）との共創を希望します。